

日銀神戸  
支店長の  
視点

別所昌樹氏



日本に入境した外国人の数は昨年、過去最高を更新しました。宿泊旅行統計調査の外国人延べ宿泊者数は、東京では一昨年初めに、全国でも一昨年夏にコロナ禍前の水準に達しました。兵庫での回復はやや遅れましたが、昨年夏にコロナ禍前の水準を超え、着実に伸びてきています。

同じ月で比べた宿泊者数が2019年の2倍を超える東京ほどではないですが、大阪・京都と同様、1.5倍前後まで回復しました。インバウンド消費動向調査の都道府県別訪問外国人数も似たトレンドです。

今月、神戸空港に国際チャーター便が就航したことは、インバウンド（訪日客）の追い風を生かす絶好のタイミング

## 国際線就航、ビジネス面でも期待

グと言えるでしょう。豊富な観光資源を擁する播州や瀬戸内にも便利な空港です。今後就航先・便数が増えるにつれ、これらの地域や国内線で繋がる都市からのアウトバウンド（出国）にも力を発揮するでしょう。

ところで、以前私が駐在していたロンドンには六つ空港があります。有名なのはヒースローですが、金融街から新交通システムやタクシーで30分弱の場所にはロンドン・シティ空港があります。ビジネス利用を狙ったフルサービスエアラインの欧州内国際線が多く発着しています。

国際色豊かな港町として発展し外国の方にも暮らしやすい神戸ですが、三宮からポートライナーやバスで20分ほどの空港に国際線が就航することとは、ビジネス都市としての魅力をさらに高めるでしょう。もともと外資系企業の日本法人本社が多い当地ですが、外資系企業誘致などビジネス機能の強化にも繋がることを期待します。